

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今年度の運営推進会議は、3ヶ月に1回のペースで開催しているが、グループホームからの報告、意見交換とパターン化している。運営推進会議のメンバーの拡充、会議内容の工夫が課題である。	2ヶ月に1回の開催を目標にするとともに、運営推進会議の構成メンバーの見直しと会議内容の工夫を行い、より関係者、地域住民に開かれた運営推進会議とする。	会議だけでなく、「くわのみ」の行事と運営推進会議を兼ねて行なうことで、委員の人達に日常活動に参加してもらったり、利用者と交流する機会をもうけるなど、柔軟な運営をこころがける。	6 か月
2	35	年2回、夜間を想定した避難訓練を実施しているが、利用者の安全を確保し生命を守るには、近隣の人達の協力が不可欠である。今後、地域住民と共同した防災訓練が必要である。	火災だけでなく、風水害や地震を想定した避難訓練を地域の人達と協力して実施する。緊急時に利用者の安全確保が迅速に行なわれるように消防計画をはじめとして防災計画を見直す。	来年度中にスプリンクラーをはじめとした防災設備の設置を予定。同時に来年度前半に地震等を想定した避難訓練を地域の人達の参加を得て実施する。また消防計画等の見直し、充実を実施する。	8 か月
3	49	利用者の外出への要求などに応え、日常的に外出の頻度は高い。一方で、外出時の事故などへの救急対応に不安がある。	外出時の事故予防、事故が起きた場合の救急対応について、すべての職員が救急法などの対応方法を身につける。	移動中に交通事故が起きた場合の対処方法などの定期的な研修会の開催と事故時の対応をわかりやすくしめたマニュアルをつくる。	10 か月
4	10	家族の思いや要望を知る機会が少なく、毎月の家族への便りも一方通行となっている。外部評価時の家族アンケートはとても貴重である。家族の率直な意見や思いをもっと聞く機会をもつことが必要である。	グループホームのケアや運営につき、家族の感想や意見が反映できる機会や場を設けていく。	グループホームの行事等にあわせ家族に参加していただいたり、年2回ほどの「家族の会」を開く。また面会時に家族と必ず話し合う時間をもつ。また場合によっては「家庭訪問」をさせていただく。	10 か月
5	20	近隣に自宅のある人などを中心に日常的に出掛け、家族や近隣の人とも会える機会をつくるようにしているが充分とはいえない。ホーム内でなじみの関係をつくとともに、これまでの関係継続が大切である。	単に外出するということだけでなく、利用者本人の思いを大事にして、個々人のこれまでのつながりが断絶してしまわないような外出支援をはじめ、なじみの人との出会いを多くつくる。	月に1回参加している地域の「まめな会」の人たちにグループホームに来ていただき交流する。お墓参り、地域の行事など、個々の要望やこれまでのつながりを大事にすることを意識した支援を行なう。	10 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。